

科目名	美容実習(カット応用)		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る							
授業の一般目標	カットによるサロンスタイル〜クリエイティブスタイルまでを理解し、シザーワーク技術でスタイルを作成する。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	テキスト資料							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
☐ 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
☐ 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
☐ 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
☐ 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備考		
第1回	カットスタイルでイメージを表現	スタイルからイメージを感じる(ヘアショーの見学や作品集からイメージを読み解く)						
第2回		スタイルからイメージを感じる(ヘアショーの見学や作品集からイメージを読み解く)						
第3回		スタイルからイメージを感じる(ヘアショーの見学や作品集からイメージを読み解く)						
第4回	サロンスタイル①	スタイルからカット展開図をイメージ、施術手順と技術を学び技術表現、作品作成						
第5回		チェックカットとスタイリング後、撮影・発表						
第6回	サロンスタイル②	スタイルからカット展開図をイメージ、施術手順と技術を学び技術表現、作品作成						
第7回		チェックカットとスタイリング後、撮影・発表						
第8回	サロンスタイル③	スタイルからカット展開図をイメージ、施術手順と技術を学び技術表現、作品作成						
第9回		チェックカットとスタイリング後、撮影・発表						
第10回		スタイルをデザインする						
第11回	クリエイティブスタイル①	スタイルからカット展開図をイメージ、施術手順と技術を学び技術表現、作品作成						
第12回		チェックカットとスタイリング後、撮影・発表						
第13回		スタイルをデザインする						
第14回	クリエイティブスタイル②	スタイルからカット展開図をイメージ、施術手順と技術を学び技術表現、作品作成						
第15回		チェックカットとスタイリング後、撮影・発表						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福井 純子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/			

科目名	美容実習（パーマ応用）		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 （目的、目標とする資格・検定等）	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る							
授業の一般目標	デザインパーマを理解する→カットスタイルに合わせたパーマ技術を施術できる							
受講条件	出席率80％以上が前提となる							
事前学習について （テキスト・参考書等）	美容実習Ⅰ							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
☐ 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
☐ 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
☐ 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	パーマ剤の知識	パーマ剤の特徴と髪質とデザインに合わせたパーマ剤						
第2回	パーマでイメージを表現	ウェーブの流れからイメージを感じる（ヘアショーの見学や作品集からイメージを読み解く）						
第3回		ウェーブの流れからイメージを感じる（ヘアショーの見学や作品集からイメージを読み解く）						
第4回	パーマを取り入れたデザインスタイル①	スタイルをデザインし薬剤選定						
第5回		デザインに合わせた技法						
第6回		スタイル作製						
第7回		スタイル作製と撮影・発表						
第8回	パーマを取り入れたデザインスタイル②	スタイルをデザインし薬剤選定						
第9回		デザインに合わせた技法						
第10回		スタイル作製						
第11回		スタイル作製と撮影・発表						
第12回	パーマを取り入れたデザインスタイル③	スタイルをデザインし薬剤選定						
第13回		デザインに合わせた技法						
第14回		スタイル作製						
第15回		スタイル作製と撮影・発表						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80％以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		その他	評価割合
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福井 純子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/			

科目名	美容実習(カラー応用)		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る							
授業の一般目標	デザインカラーを理解する→カットスタイルに合わせたカラー技術を施術できる							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	①～④のウィッグはカット応用で使用したもの ⑤のウィッグは新しいものを使用する							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
☐ 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
☐ 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
☐ 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
☐ 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題		授 業 内 容			備考		
第1回	カラー剤知識		カラー剤の特徴と色のバリエーション～薬剤選定					
第2回	ヘアカラーでイメージを表現		髪色からイメージを感じる(ヘアショーの見学や作品集からイメージを読み解く)					
髪色からイメージを感じる(ヘアショーの見学や作品集からイメージを読み解く)								
第4回	ヘアカラーを取り入れたデザインスタイル①		スタイルをデザインする(配色と技法の組み合わせ)とカラー剤選定					
デザインに合わせた技法								
配色と技法の組み合わせによりデザイン作品作成								
配色と技法の組み合わせによりデザイン作品作成と撮影・発表								
第8回	ヘアカラーを取り入れたデザインスタイル②		スタイルをデザインする(配色と技法の組み合わせ)とカラー剤選定					
デザインに合わせた技法								
配色と技法の組み合わせによりデザイン作品作成								
配色と技法の組み合わせによりデザイン作品作成と撮影・発表								
第12回	ヘアカラーを取り入れたデザインスタイル③		スタイルをデザインする(配色と技法の組み合わせ)とカラー剤選定					
デザインに合わせた技法								
配色と技法の組み合わせによりデザイン作品作成								
配色と技法の組み合わせによりデザイン作品作成と撮影・発表								
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	石田 美紀			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/ishida/			

科目名	美容実習(シャンプー・ヘッドスパ)			単位数	1	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	1年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	現場に必要な頭皮理論、ヘッド・スパ技法の習得、及びコンサルテーション能力向上を目指す							
授業の一般目標	頭皮理論とスパシャンプー、クレンジング、リフトアップメソッドの習得。不調の原因、解消法など応対話法の習得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	DEMIDOヘッドスパマニュアル							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
☐ 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
☐ 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
☐ 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
☐ 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回-2回	シャンプーを知る	シャンプー準備・シャワーの使い方・マッサージ理論						
第3回-4回	シャンプーを知る	シャンプー工程を覚える・効果的なマッサージトレーニング						
第5回-6回	ヘッドスパ	マッサージの手順を覚える						
第7回-8回	ヘッドスパ	マッサージの手順を覚える(復習)						
第9回	ヘッドスパ	マッサージの手順を覚える(復習)						
第10回	シャンプーを知る	シャンプー工程を覚える・効果的なマッサージトレーニング						
第11回-12回	理論・マッサージ技術検定	前回迄の技術を一連の流れで行う					資生堂ディプロマ取得	
第13回-14回	コンサルテーション理論	筆記、技術に関するチェックテストを受験する						
第15回	コンサルテーション実習	コンサルテーションについて、実際に実習する						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	石田 美紀			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/ishida/			

科目名	美容実習(国家試験課題 カット)			単位数	2	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	2年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	国家試験課題(第1課題)のカットスタイルを技術の条件に合わせて完成させる。							
授業の一般目標	国家試験課題(第1課題)のカットスタイルを理解し、40分で誤差2センチ以内に仕上げる。							
受講条件	美容科2年生							
事前学習について (テキスト・参考書等)	衛生と技術の解説 理容師美容師試験研修センター 美容実習1 美容技術理論1 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	指定されているカットスタイルの展開図を理解し、ブロッキングごとに必要とされるカットの技法を理解している。							
☐ 思考・判断の観点								
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点	身だしなみを整え、衛生的な作業をする。							
☐ 技能・表現の観点	指定されたスタイルを、指定される時間で完成させている。							
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題		授 業 内 容				備考	
第1回	概要		国家試験課題(カット)の技術の条件を理解・確認する。					
第2回	ブロッキング		アウトラインを分け取り、各部をブロッキングする。				2分以内	
第3・4回	後頭部のカット		耳後ろからネーブまでのガイドラインを、決められた長さで角度でカットする					
第3ブロックを床と平行にカット								
第1ブロックをセイルレングス技法でカットする								
第2ブロックをセイルレングス技法とレイヤー技法でカットする。								
第5・6回								
第7・8回								
第9・10回								
第11回	前頭部のカット		フロント(フェースライン)からサイドまでのガイドラインを、決められた長さで角度でカットする。					
フロントブロックをグラデーション技法でカット								
サイドブロックをオーバーダイレクションしながら3種の技法でトップとガイドラインを繋ぐ。								
第12回								
第13・14回								
第15・16回	全頭をカット		決められた長さなどの条件に合わせてカットスタイル(国家試験課題)を完成させる。 器具皿(消毒済・使用中)の使い分けを行う。				55分以内	
第17・18回								
第19・20回			決められた長さなどの条件に合わせてカットスタイル(国家試験課題)を完成させる。				50分以内	
第21・22回								
第23・24回			決められた長さなどの条件に合わせてカットスタイル(国家試験課題)を完成させる。				45分以内	
第25・26回								
第27・28回			国家試験課題(第1課題)のカットスタイルを、2センチ以内の誤差に完成させる。				40分以内	
第29回								
第30回	期末試験		40分以内に2センチの以内の誤差で完成させる。				40分以内	
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					100	S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福井 純子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/			

科目名	美容実習(国家試験課題 総合Ⅰ)			単位数	2	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	2年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	国家試験課題(第2課題)のオールウェーブセティングを技術の条件に合わせて完成させる。							
授業の一般目標	国家試験課題(第2課題)のオールウェーブセティングを理解し、30分で仕上げる。							
受講条件	美容科2年生							
事前学習について (テキスト・参考書等)	衛生と技術の解説 理容師美容師試験研修センター 美容実習1 美容技術理論1 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	7段構成を理解し、ウェーブの流れと各種のピンカールの特徴を知っている。							
☐ 思考・判断の観点								
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点	身だしなみを整え、衛生的な作業をする。							
☐ 技能・表現の観点	国家試験の技術の条件に合わせてウェーブとピンカールを指定時間内に完成させている。							
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題			授 業 内 容			備考	
第1回	概要			国家試験課題(オールウェーブセティング)の技術の条件を理解・確認する。				
第2回	1年生時の復習			1年生時課題(オールウェーブセッティング)を完成させる。				
第3・4回	リフトカール			4段目の中央3分の1のところに、リフトカールを作る。				
第5・6回				リフトカールの特徴を理解し、作成する。				
第7・8回								
第9・10回	逆リフトカール			5段目の中央3分の1のところに、逆リフトカールを作る。				
第11・12回				逆リフトカールの特徴を理解し、作成する。				
第13・14回								
第15・16回	メイボールカール			5段目の中央3分の1のところに、逆リフトカールを作る。				
第17・18回				逆リフトカールの特徴を理解し、作成する。				
第19・20回								
第21・22回	オールウェーブセティング 7段構成			決められた時間で、国家試験課題を完成させる。			60分以内	
第23・24回							50分以内	
第25・26回							40分以内	
第27・28回							30分以内	
第29・30回							30分以内	
成績評価方法								
単位認定60点以上 模擬国家試験(国家試験規定に準じ評価を行う)								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					100	S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	石田 美紀			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/ishida/			